

Availability of EuroQol-5-Dimensions-5-Level (EQ-5D-5L) as health-related QOL assessment for Japanese systemic sclerosis patients

著者	麦井 直樹
著者別表示	MUGII Naoki
journal or publication title	博士論文要旨Abstract
学位授与番号	13301甲第5296号
学位名	博士（保健学）
学位授与年月日	2021-03-22
URL	http://hdl.handle.net/2297/00065171

doi: <https://doi.org/10.1080/14397595.2019.1640409>



博士論文審査結果報告書

学籍番号 1829022024

氏名 麦井直樹

論文審査員

主査(教授) 柴田克之



副査(教授) 染矢富士子



副査(教授) 西村誠次



論文題名 Availability of EuroQol-5-Dimensions-5-Level (EQ-5D-5L) as health-related QOL assessment for Japanese systemic sclerosis patients (日本人全身性強皮症における健康関連 QOL EQ-5D-5L の有用性の検討)

論文審査結果

【論文内容の要旨】

全身性強皮症 (SSc) はレイノー現象や皮膚潰瘍に代表される血管病変と皮膚硬化や間質性肺炎に代表される線維化病変がみられる自己免疫疾患で、症状の進行は QOL を低下させる。健康関連 QOL 評価の一つに欧州で開発された EQ-5D-5L があり、index スコアと VAS スコアより構成され、医療費など社会的視点からの報告、うつスケールや疲労度、関節リウマチに特異的な評価である HAQ-DI と関連性を示した報告がある。ところが、QOL は国による文化的な違いに影響されることがあるため、本研究では日本人 SSc の QOL を EQ-5D-5L で評価しその利用の可能性について、HAQ-DI や臨床所見との関連性により検討した。SSc 患者 109 例について、QOL の各スコアと罹病期間、自己抗体、病型分類、スキンスコア、爪郭部毛細血管所見、間質性肺炎、肺高血圧症、手指拘縮、皮膚潰瘍、腎クリーゼ、逆流性食道炎、偽イレウス、肺活量、肺拡散能、KL-6 値、ステロイドおよびシクロフォスファミドの内服の有無との間について解析した。

その結果、EQ-5D-5L の index スコアと VAS スコアは欧州での横断的研究の結果と類似した値であり、HAQ-DI の値とも相関が認められた。本研究ではびまん皮膚硬化型、抗トポイソメラーゼ I 抗体の患者が多く、index スコアにおいては、肺高血圧症、肺活量、腎クリーゼとの間に関連性が示されたが、VAS スコアでは関連性は示されなかった。また HAQ-DI でも、肺活量、腎クリーゼとの間に関連性が示された。一方、英国の調査では、対象者として限局皮膚硬化型、抗セントロメア抗体が多く、index スコアと上部消化管症状と関連性が示されている。このことから EQ-5D-5L は英国とは臨床像が異なる日本人の SSc についても評価可能で、すでに確立している HAQ-DI に影響する臨床像ともほぼ一致するため、日本人 SSc の QOL 評価として有用であることが示唆された。

【審査結果の要旨】

本研究では、欧州で広く使用されている評価法を日本に導入するための科学的検証が行われており、今後の発展が期待できる。このような研究の新規性は、当該研究領域だけでなく、幅広い分野での研究に活用される可能性を示している。

以上、学位請求者は本論文の論文審査及び最終審査の状況に基づき、博士(保健学)の学位を授与するに値すると評価する。